

決 済 動 向

— 平成 6 年 5 月 —

(平成 6 年 7 月 11 日)

1. 日本銀行における決済関連計数

5月の日銀当座預金受払(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースでは3.2万件(前年比+2.2%)、金額ベースでは346.9兆円(前年比+6.5%)となった(6年1月17日の内国為替制度改正以前のベースで試算した金額の前年比は+11.2%)。金額の内訳をみると、当座預金振替等は324.5兆円(前年比+12.0%)、民間の集中決済制度にかかる資金決済は15.3兆円(前年比△48.0%)となった(従来のベースで試算した民間の集中決済制度にかかる資金決済は前年比+4.4%)。

5月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで3.6万件(前年比+52.7%)、金額ベースで87.9兆円(前年比+27.7%)となった。

また、日本銀行における振込国債の口座振替(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで3.5万件(前年比+18.4%)、金額ベースで190.5兆円(前年比+4.1%)となった。

なお、各取引に占める国債資金同時受渡システム(国債DVPシステム<6年4月稼働開始>)利用割合を金額ベースでみると、登録国債の移転登録については30.9%(前月比+18.3%ポイント)、振込国債の口座振替については32.1%(前月比+17.9%ポイント)となった。

5月の国庫金取扱高(受払合計、1営業日平

均)は、件数ベースで54.3万件(前年比△0.5%)、金額ベースで5.5兆円(前年比+13.9%)となった。

5月の日本銀行における銀行券受払高(月中合計)は受入高8.7兆円(前年比+6.5%)、支払高6.0兆円(前年比+1.8%)となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、5月の手形交換高(東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均)は、枚数ベースでは54.3万枚(前年比+1.9%)、金額ベースでは9.7兆円(前年比△8.2%)となった。

5月の全銀システム取扱高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは374.1万件(前年比+5.6%)、金額ベースでは8.3兆円(前年比+6.8%)となった。

5月の外為円決済交換高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは3.1万件(前年比+12.3%)、金額ベースでは28.3兆円(前年比+27.1%)とともに前年を上回った。

3. その他

5月の東京金融先物市場の取引数量(円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均)は16.3万契約(前年比2.0倍)、月末の建玉数量は135.5万契約(前年比2.1倍)と引き続き前年を大幅に上回った。

(信用機構局)